

1 教育目標

人間尊重の精神を培い、知性・感性に富み、国際感覚をそなえた人間性豊かで、心身共に健康な子どもを育成する。

- ① 明るく元気な子ども ② よく考える子ども ③ 思いやりのある子ども

2 基本経営方針

関わるすべての人が、四六プライドを感じる事ができる園

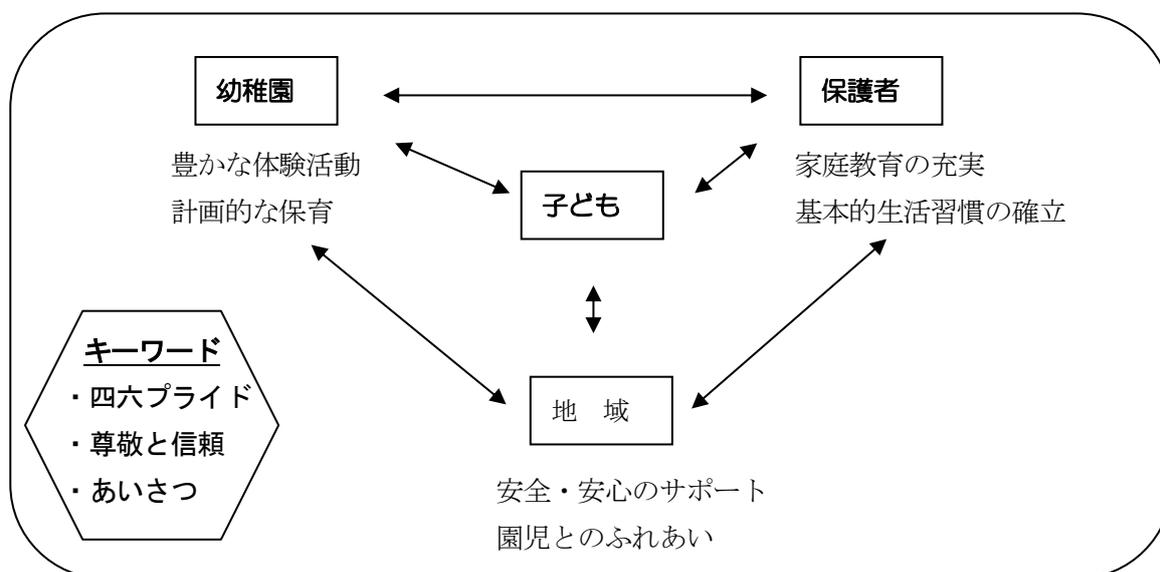
- ①安心・安全 ②楽しいまなび ③誇りをもてる園

「明るく元気な子ども」の実現のためには、まず「安心・安全な」教育環境が必要である。特に新型コロナウイルスの感染防止に対して最大限の配慮を行っていく必要がある。

「よく考える子ども」の実現のために、「楽しい学び」のある毎日を築かなければならないと考える。楽しいまなびの中で、自ら考え学ぶ子どもを育てていきたい。

「思いやりのある子ども」の実現のためには、地域・保護者・教員が誇りを感じる園であることが大事である。そのために「挨拶が飛び交う」等の具体的な姿が見えてくることが望ましい。

子どもを中心にした園・保護者・地域のつながり



3 育てたい幼児像

- (1) 朗らかで、体を動かすことが好きな子（明るく元気な子ども）
- (2) 心と体を健康に保つことができる児童（明るく元気な子ども）
- (2) 遊びの中で考えたり工夫したりできる子（よく考える子ども）
- (3) すずんで絵本に親しみ、自然と触れ合うことができる子（よく考える子ども）
- (4) ルールやマナーを守り、友達と仲良く遊ぶことができる子（思いやりのある子ども）
- (5) 友達や生き物に優しく接することができる子（思いやりのある子ども）

4 目指す幼稚園像 **関わるすべての人が、四六ブライドを感じることができる園**

(1) 園児にとって『明日も行きたい幼稚園』

- 楽しい遊びの場
- 心通わせる友達
- 自分を理解してくれる先生
- ・さまざまなことを体験でき、友達とのかかわりが深まる幼稚園
- ・いろいろな遊びや活動を通して、自分を表現することができる幼稚園
- ・近隣の幼稚園、子ども園、小学校と積極的に交流する幼稚園
- ・幼児一人一人を大切にし、ほめて伸ばす幼稚園
- ・一緒に遊んだり、話を聞いてくれたりする先生がいる幼稚園

(2) 保護者にとって『信頼できる幼稚園』

- 基本的な生活習慣の確立
- 保護者に寄り添い、何でも相談できる体制づくり
- 規範意識や道徳性の育成の重視
- ・社会生活の基礎をきちんと身に付けられる幼稚園
- ・教職員の共通理解が図られていて、園の方針が分かりやすい幼稚園
- ・幼児一人一人の好奇心と意欲を引き出す遊びの場を提供する幼稚園
- ・小学校との連携を通して、3歳から12歳まで見通しのもてる幼稚園
- ・悩みや不安に親身になって対応してくれる幼稚園
- ・体力向上や健康の保持増進を目指して、計画的に活動を工夫する幼稚園
- ・専門職・公務員としての自覚と自信に溢れた教職員の姿の見える幼稚園

(3) 教職員にとって『働きがいのある幼稚園』

- 自己の資質の向上を目指し、専門性を高められる環境
- 園の中で自分の力が発揮できる組織
- 幼児とじっくり向き合い、幼児とのかかわりを楽しめる時間の確保
- ・教職員が信頼し合い、協力し合う幼稚園
- ・職員室が保育の話、子どもの話であふれる幼稚園
- ・自分の思いを表現できる幼稚園
- ・幼児とのかかわりの楽しさややりがいを他の教職員と分かち合える幼稚園
- ・働き方を工夫することで、余裕をもって計画的に仕事ができる幼稚園

(4) 地域にとって『誇れる幼稚園』

- 地域の施設や自然・文化、人々とのかかわりを大切にした多様な学習活動の工夫
- 地域の諸行事や活動への参加と交流、地域の教育力の活用
- ・園庭などが整備され明るく清潔な幼稚園
- ・校庭の芝生を活用し、地域や関係諸団体との確かな連携を深める幼稚園
- ・地域の教育力を積極的に取り入れる幼稚園
- ・情報発信し、園の活動をわかりやすく説明する開かれた幼稚園